

総合学習 中間発表

10月12日(木) 於: 体育館

昨年から進めてきた「総合的な学習」ですが、2年生になり、いよいよ発表の段階となりました。グループごとにテーマを決め、これまでに様々な手段を用いて情報を集め、調べ、アンケート調査なども行いまとめてきました。

2年生になって6時間目での中間発表です。2月の最終発表に向けて、まだ途中段階ですが、これまでの成果をポスターセッションという形で発表しました。1年生や先生方から聞いていただき、たくさんの質問や助言をいただきました。

《中間発表を終えて》

「山形のブランド化」 石澤優紀 石山陽菜

私たちは「山形のブランド化」というテーマで研究を進めている。今回の中間発表を通していくつかの課題が見つかった。

私たちは研究を進める中で、アンケート調査と他県との比較を行った。どちらの方法も好況だった一方で、比較の内容が薄かったように感じられた。京都と高知の馬路村、この二つを山形と比較したが、曖昧な点も多く、誰にでもすぐ得られる情報に留まっているのが現状だ。京都が行っている工夫で山形にないもの、必要なものは何か。馬路村はどうしてブランド化に成功したのか、山形をブランド化させるためのヒントとなるものは何か。そういう視点で、もっと密に比較を行っていく必要があり、調査方法にも工夫が必要だと感じた。また、他のグループの発表を聞き、新しい発見もあったので、中間発表から学んだことを活かし、より良い研究にするため努力していきたい。



「東京オリンピックがもたらす山形への影響」 結城野衣 黒岩瑠奈 東海林帆佳

総合中間発表は、本番に向けて自分達の発表内容を見直すとても良い機会になったと思います。

他の班の研究からは、思いもつかないような題材や発想が多く見受けられ、私も沢山の刺激を受けました。発表の仕方は班それぞれ特徴があり、質問を投げかける班、グラフを指しながら説明する班など、色々な伝え方があるのだということも教えられました。一人ひとりが慣れないことだらけの体験でしたが、高度な発表も多くあったように感じます。

自分達の番では、聞いてくれる人に伝わるように意識しながら発表しました。それでも、なかなかわかりにくい部分や、聞き取りづらい部分も出てきたりして、発表の難しさが身にしみて感じられました。発表について感想や意見をもらうのは、研究内容がしっかり伝わったとわかり嬉しかったです。今回もらった意見を取り入れながら、本番までに発表内容をより良いものにしていきたいです。



「山形県の医療における現状」

小口梨沙 鈴木佳奈

私たちは、現代の山形の医療について調べました。中間発表では、4分という限られた時間の中で、どのようにしたら伝えたいことをプレゼンテーションできるかを意識して発表し、いくつかの反省点と改善点が見つかりました。

質問された時に曖昧になってしまい、しっかりと答えられなかったり、発表の内容に不足している部分があったりすることに気づきました。

また、発表を聞いてくれた人たちも、熱心にプレゼン資料を見てくれたり、質問してくれたりし、落ち着いて発表することができました。他のグループの発表を見て、どのグループもわかりやすく発表しようと工夫していると思いました。

今回の発表で出た改善点を元に、必要な情報を集めたり、資料をまとめ直したりし、より良い発表になるように頑張っていきたいと思います。



「白髪の改善」 葉山なつこ 白田千帆

中間発表を終えて、「自分達が言いたいことを相手に伝えるにはどうすれば良いか」ということについて、改めて考えさせられました。私達のグループは、途中で研究テーマをガラリと変えたため、発表までの時間が少し足りなくなっていました。中間発表本番では、スムーズに発表ができたものの、自分達の言いたいことや研究内容などが、相手に伝わっているのか不安に思う部分がありました。

ただ、他のグループの発表を聴いて、様々なことを吸収できたように思えます。研究の仮説や、自分なりの解釈を加えることはもちろん、細かいことですが、スライドの構成や画像・イラストの使い方などを改善することで、研究内容がより映えるのではないかと感じました。

他のグループの発表から学んだことや、GOOD JOB シールで頂いた意見を生かして、より面白く、相手に伝わるものになるよう、研究に努めていきたいです

